

| | | | | | | | |
|------|------------|---------------------|-------|-------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 04 11 02 | 事業改善シート（令和5年度実施事業分） | | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 文化財の保存活用事業 | 部局 | 県民文化部 | 課・室 | 文化振興課 | | |
| | | 実施期間 | S25 ~ | E-mail | bunkashinko @ pref.nagano.lg.jp | | |

1 現状と課題

- ・過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財継承の担い手不足による文化財の滅失や散逸等の防止が緊急の課題となっている。そのため、文化財に対する県民の理解を深めるとともに、所有者等による文化財の保護・活用を推進し、文化財を確実に未来に継承する必要がある。
- ・コロナの影響下においても、県立歴史館による展示公開と県民が楽しく利用できる事業を工夫する必要がある。

2 事業目的

- ・文化財の確実な保護・継承と活用を推進することにより、県民の文化的向上と地域活性化に資する。
- ・県立歴史館において歴史資料等を収集・保存し、広く県民の利用に供することにより、県民の教養と文化の振興に寄与する。

3 事業目的を達成するための取組

①文化財保護のための文化財指定の推進及び保存・活用の支援

- ・文化財指定を推進するため、現地調査の実施や文化財保護審議会を開催
- ・指定文化財や埋蔵文化財の現状把握や適切な管理のため、文化財パトロールや埋蔵文化財包蔵地パトロールを実施
- ・指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助の実施
- ・文化財保存活用大綱の策定、文化財保存活用地域計画等の策定・運用支援

②県立歴史館事業推進による学習機会の充実

- ・歴史資料等の収集、保存整理や所蔵品のデジタル化、新「長野県史」編さんに向けた検討を実施
- ・所蔵資料の公開活用や県民への学習機会の提供のため、企画展や各種講座等を開催
- ・中南信地域での「お出かけ歴史館」開催や、Webを活用した情報発信を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

| No. | 指標名 | 単位 | R3年度 | | R4年度 | | R5年度 | | R5年度 目標値 | 達成 状況 | 目標値設定理由 |
|-----|-----------|----|--------|--------|------|--------|------|--------|-------------|--|---------|
| | | | 実績 | 実績 | 推移 | 実績 | 推移 | | | | |
| ① | 文化財指定等件数 | 件 | 1,399 | 1,434 | ↗ | 1,448 | ↗ | 1,456 | 未達成 | 過去5年の実績とR5年度中の指定が見込まれる件数を勘案して設定 | |
| ② | 県立歴史館利用者数 | 人 | 81,036 | 65,179 | ↘ | 66,533 | ↗ | 85,000 | 未達成 | 新型コロナ対応による入館制限等の影響（R元→R2：約8万人の減）の1/2程度の回復を見込んで設定 | |

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

| No. | 施策分野（施策の総合的展開名） | 達成目標 （★印が付いているものは主要目標） | 単位 | 直近3か年の状況 | | | | | | 目標 | |
|------|--------------------------|---------------------------|----|----------|----|---|----|---|----|----|----|
| | | | | 年 | 数値 | 年 | 数値 | 年 | 数値 | 年 | 数値 |
| 3-2① | 文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用 | | | | | | | | | | |

6 事業コスト

(単位：千円、人)

| 区分 | 予算額 | | | | | 決算額 | 職員数 |
|------|--------|---------|----------|--------------|---------|---------|------|
| | 前年度繰越 | 当初予算 | 補正予算等 | 合計 (予算現額) | うち一般財源 | | |
| R5年度 | 22,084 | 615,288 | △ 25,059 | 612,313 | 406,563 | 553,165 | 31.0 |
| R4年度 | 1,342 | 360,900 | 21,229 | 383,471 | 321,392 | 329,338 | 31.0 |
| R3年度 | 10,119 | 287,374 | 2,690 | 300,183 | 261,306 | 281,823 | 30.0 |

| | | | | | | | | |
|------|------------|---------------------|----|-------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 事業番号 | 04 11 02 | 事業改善シート（令和5年度実施事業分） | | | <input type="checkbox"/> 当初要求 | <input type="checkbox"/> 当初予算案 | <input type="checkbox"/> 補正予算案 | <input checked="" type="checkbox"/> 点検 |
| 事業名 | 文化財の保存活用事業 | | 部局 | 県民文化部 | 課・室 | 文化振興課 | | |

7 主な取組実績と成果

①文化財保護のための文化財指定の推進及び保存・活用の支援

- ・10月と3月に開催した県文化財保護審議会を経て、2件の県指定等を行った。
- ・この他、県内の文化財について17件の国指定等が行われた。
- ・国庫補助が交付される国指定等文化財の修理、防災事業に対するの県費の随伴補助を34件行うとともに、県指定文化財の修理、防災等の事業に対するの県費補助を20件行った。

②県立歴史館事業推進による学習機会の充実

- ・企画展として所蔵品展の他、「主張する古墳—新たなシナノの古墳時代像—」「信州やきもの紀行—江戸から明治へ—」「和田 英—糸づくりに懸けた明治の女性—」を開催し、16,847人に入場いただいた。
- ・上級古文書講座をはじめとした各種の古文書講座を29回開催した。
- ・クラウドファンディングにより歴史館の取組をPRするとともに、寄付金で購入した貴重な古文書の特別公開や特別講座の開催により、来館者数の増加を図った。
- ・新たな長野県史編さんに向けた検討及び近現代史資料の資料調査・収集を実施するとともに、「新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会」を2回開催した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

| 指標① | 文化財指定等件数 | R4年度推移 | ↗ | R5年度推移 | ↗ | 達成状況 | 未達成 |
|--|-----------|--------|---|--------|---|------|-----|
| 令和5年度における文化財の国・県指定等は19件であった（このほか取消等あり）。例年に比べて、国登録有形文化財の登録数が少ないのは文化庁の京都移転に伴う登録申請の回数が減少（3回→2回）したことも影響している。その結果、令和5年度未までの累計の目標値である1,456件には到達できなかった。 | | | | | | | |
| 指標② | 県立歴史館利用者数 | R4年度推移 | ↘ | R5年度推移 | ↗ | 達成状況 | 未達成 |
| 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から5年度まで団体客を中心に各展示室及び講座の入場者数に制限をかけていたことに加え、一般の利用者数が見込ほど回復しなかったことから目標値である85,000人には到達しなかった。 | | | | | | | |

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・文化財に対する県民の理解を深めるとともに、文化財を未来に継承していく必要がある。
- ・所有者等による文化財の保護・活用を推進していく必要がある。
- ・県立歴史館の取組を知ってもらい、来館してもらおうためのきっかけを作る必要がある。
- ・芸術・観光・地域振興に関連する施設との連携を強め、今まで以上に来場者の満足度を高めていく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・県内文化財の指定等の推進により、文化財に対する県民の理解を深め、未来に継承していく意識醸成を図る。
- ・所有者等による文化財の保護・活用を支援し、文化財の確実な保護・継承を推進するとともに、観光の振興や地域の活性化を図る。
- ・令和6年度の開館30周年を記念した企画展の実施に合わせ、大々的に広報を行い、来館者数の増加につなげる（令和6年度から入場制限を解除）。
- ・クラウドファンディングにより信州にゆかりのある歴史資料を購入し、歴史館の資料収集活動の取組をPRする。
- ・様々な世代に何度も来場してもらえるよう、老朽化した施設の修繕や常設展示内容のリニューアルを検討する。

| | | | | | |
|-----|-------------------|----|-------|-----|-------|
| 事業名 | 文化財の保存活用事業 | 部局 | 県民文化部 | 課・室 | 文化振興課 |
|-----|-------------------|----|-------|-----|-------|

| 細事業 No. | 細事業名 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 | R5年度 決算額 |
|----------|------------------|---------------|--------------|---------------|
| 1 | 文化財総合対策事業 | 101,790 千円 | 91,450 千円 | 103,863 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） |
|-----|--------------|------|---|
| 1 | 文化財総合対策 | 直接 | <ul style="list-style-type: none"> 文化財指定のための調査、審議会開催 指定文化財の現状把握や適切な管理のための文化財パトロールの実施 文化財保護研修会の開催 文化財保護審議会開催2回、文化財パトロール768件、研修会2回 |
| 2 | 文化財の修理及び防災事業 | 補助金 | <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の所有者等が実施する保存修理や防災対策、活用事業に対する補助 補助件数54件（随伴補助34件、県費補助20件） |
| 3 | 埋蔵文化財保護対策 | 委託 | <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の保護のための埋蔵文化財包蔵地パトロールの実施 パトロール474箇所 |

| 細事業 No. | 細事業名 | R3年度 決算額 | R4年度 決算額 | R5年度 決算額 |
|----------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 2 | 県立歴史館事業 | 180,033 千円 | 237,888 千円 | 449,302 千円 |

| No. | 細事業を構成する主な取組 | 実施方法 | 令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット） |
|-----|--------------|------|--|
| 1 | 総合情報及び企画展等事業 | 直接 | <ul style="list-style-type: none"> 常設展示の管理運営 企画展（「主張する古墳」「信州やきもの紀行」「和田英」「所蔵品展」）の開催 「お出かけ歴史館」の実施 「お出かけ歴史館」実施数4校 企画展16,847人入場 |
| 2 | 文献史料事業費 | 直接 | <ul style="list-style-type: none"> 古文書講座の開催 信州にゆかりのある歴史資料の購入 新たな長野県史編さんに向けた検討、近現代史資料の所在調査・収集等 古文書講座開催29回、新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会2回開催 |
| 3 | 公文書館機能事業費 | 直接 | <ul style="list-style-type: none"> 特定歴史公文書を永続的に適切な状態で保管するために、旧須坂商業高校校舎の文書収蔵庫としての改修工事や、防虫のための燻蒸機会の確保 ・全館燻蒸1回 |